

納涼屋台in川前駅前2023

主催

川前町賑わいづくり実行委員会

川前地区の新たなコミュニケーションの場として、また、川前駅前周辺の賑わいを創出するため、地元の食材を利用した屋台が7月28日・29日の期間限定で開催されました。当日は「川前きじコロケ」の販売や「IBCサクソフォンアンサンブル」によるサクソ演奏会などが行われました。



第1回どろんこ運動会を開催

主催

遠野町地域づくり振興協議会



8月5日、遠野町の「とおの湧水公園」で第1回どろんこ運動会が開催されました。

本運動会は、遠野町の自然の魅力を市内外の方々に体感してもらい、自然を通じた交流促進を図ることを目的に、遠野町の地域おこし協力隊が企画し、地元関係者らの協力によって実現しました。

当日は親子連れなど約30人が参加し、水を張った休耕田での「どろんこフラッグ」や「どろんこバレー」などを楽しみました。



「市長と地域ふれあいトーク」を実施

お問い合わせ
広報広聴課 ☎22-7438



7月19日、市長は、好問ふるさと振興協議会の専門部会「好間を考える会」の皆さんと旭陽美術工芸株式会社で懇談し、炭鉱遺産を活用した地域振興策や好間江筋の洪水対策などについて話し合いました。

また、同日、市長は、三和町の廃校となった旧永井小学校を活用した施設「いこいの学校 長居小」を視察した後、施設を運営する「NPO法人MOCCS（もっくす）および施設利用者」の皆さんと懇談し、買い物場所の提供や地域交流イベントの開催等、地域支援の拠点としての取り組みなどについて話し合いました。



▲いこいの学校 長居小を視察



▲好間を考える会の皆さんと市長



▲NPO法人MOCCSおよび施設利用者の皆さんと市長



▲いこいの学校 長居小 ホームページ

いわきレイクサイドアクティビティ

お問い合わせ
創生推進課 ☎22-7025



カヤック



ボートクルーズ



SUP



次回開催日

10月15日(日)

詳細は市ホームページをご覧ください。(要予約・先着順)

8月2日・3日に小玉ダムの湖面を活用したアウトドア体験が開かれ、今回はカヤック、ボートクルーズ体験に加えて、新たにSUP体験が行われました。子どもから大人まで笑顔がはじけて大自然を満喫した様子でした！
※SUP（サップ）：スタンド・アップ・パドルボード



写真が語る「いわき」の歴史

大正時代の道路元標

道路に関する初めての包括的な法律となった「道路法」は大正8（1919）年4月に公布され、翌9年4月に施行されました。ここで初めて道路が国家の保有する造営物であることが明示され、さらに道路の等級を定め、国道、府県道、郡道（大正11年廃止）、市町村道が付されました。また、道路の付属物として、道路元標や里程標（距離を示す標識）、道路標識が位置づけられました。

各市町村間の距離測定、さらには輸送経費や運賃算定の根拠などにするもので、具体的な道路元標の設置場所、様式、素材、材質などの形態に関しては、大正11（1922）年8月に内務省令「道路元標に関する件」で規定されました。

これによって、当時全国にあった1万2096の市町村は、それぞれの庁舎などに道路元標を設置しました。

しかし、その後の道路新設・拡幅や市町村の合併などにより、道標に関し



植田町道路元標と解説板・勿来地区まち歩き講座 鮫川橋の植田町側に残された旧県道に設置された。
〔令和5（2023）年1月 小宅幸一撮影〕

て維持管理の義務がないままに、実質的な機能を失っていきます。また、国道や県道の整備とともに市町村の庁舎を起点とする考え方は薄れていきました。

もはや歴史過程の1コマを告げる存在でしかないのですが、設置場所が移転したものを含め、市内には17カ所を確認することができます。

（いわき地域学會 小宅幸一）

ドライブレコーダーを活用した見守り活動

お問い合わせ
生活安全課 ☎22-1152

市内外で凶悪事件が発生しているのを受け、市が各警察署に呼びかけをし、6月30日に、公用車に設置されたドライブレコーダーの映像を事件・事故の捜査に積極的に活用するための協定をいわき中央署・東署・南署とそれぞれ締結しました。犯罪被害や交通事故の防止、事件・事故の早期解決を目的とし、各署からの依頼に応じて、公用車約200台の映像を提供します。

また、7月28日には見守り活動をPRするステッカーを張り付けた公用車の出発式が行われ、市長による出発宣言後、白バイ隊の先導により消防車両などの公用車が出発し、見守り活動を開始しました。

